

2010 年度報告書（研究員）

氏 名	櫻田 貴道
職 位	研究員
<p>研究概要</p> <p>これまでの研究成果を総括するものとして博士論文を提出した。</p> <p>博士論文は、組織における逆機能の防止を制度の概念によって解決しようとするセルズニックの問題関心と理論枠組みを基本的に引き継ぎ、組織の制度化プロセスと制度形成におけるリーダーシップを明らかにしている。</p> <p>セルズニックは、制度の概念を用いて、組織に起こる逆機能の問題を分析し、それを防止するための方策を探っている。彼の研究は、師であるマートンの官僚制の逆機能に関する研究を引き継いだものであり、マートンの理論的な研究を TVA などの組織の実証分析を行うことによってさらに推し進めている。</p> <p>しかしながら、セルズニックの構築した理論には問題がある。彼は理想的な制度の状態に導くリーダーシップの役割を主張しているが、相互作用を通じて組織が制度化されるプロセスについてはその必要性に言及しながらも理論化しておらず、規範的な主張に留まっている。意図的に制度形成を行うためには相互作用からの制度化のプロセスを明らかにし、その理論を補完する必要がある。</p> <p>博士論文では、組織の制度化に関連する新制度学派や組織文化論を検討することによって、制度形成のプロセスを明らかにするとともに制度化を主体的に行うことのできるモデルを構築し、そのうえで、理想的な制度を構築するためのリーダーシップについて考察している。</p>	
<p>業績リスト（著書、論文、報告、その他に分けて主要なものを記入する）</p> <p>論文</p> <p>組織における制度形成とリーダーシップ－制度化プロセスおよび逆機能の防止に関する理論的考察－（学位申請中 京都大学）</p>	

